

6年間の学び		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
		薬学の基礎を固める	薬と体を理解する	薬の働きと利用方法を知る	実務実習に必要な知識・技能を学ぶ	医療現場で実際の業務を体得する	卒業研究・国家試験にラストスパート
薬学と社会	求められる薬剤師像を学ぶ	●実践社会福祉(災害・病院・介護のボランティアや、薬物乱用・エイズ予防の啓蒙などの社会貢献活動) ●薬剤師の心構え ●薬学概論 ●アカデミックスキル ●人間関係論	●薬剤師への招待(薬剤師のための講演会に参加) ●医療コミュニケーション学 ●地域医療学1・2 ●医療倫理学	●地域医療学3	●実践社会福祉 ●薬学英語 ●実践地域医療学1 ●薬事関係法規1 ●医薬品開発学	●創薬生命科学特論	●薬事関係法規2 ●医薬品・医療ビジネス
	物質の変化を学ぶ	●薬学数学入門 ●数学A・B	●物理A・B ●物理化学1	●分析化学1・2・3 ●物理化学2 ●生物物理学	●放射線科学 ●多角的物理化学演習		●物性分子化学
基礎薬学	化学物質の性質を学ぶ	●化学A・B ●基礎有機化学1・2	●薬用資源学 ●有機化学1・2 ●天然物化学	●生薬学 ●有機化学1・2 ●生薬学 ●天然物化学	●有機化学3 ●有機化学演習 ●医薬化学		●創薬化学
	体のしくみを学ぶ	●応用生物A・B ●生理学	●細胞生物学 ●生化学1	●生化学2 ●分子生物学 ●微生物学	●免疫学 ●生体機能演習		●生体機能学
薬衛生	健康と環境を学ぶ	●生薬学実習	●衛生薬学1・2	●衛生薬学3・4	●毒性学		●健康科学
医療薬学	病気と薬の作用を学ぶ	●基礎薬理学 ●治療薬学1・2	●基礎薬理学 ●治療薬学1・2	●治療薬学3・4・5・6 ●感染症治療学 ●東洋医学概論 ●治療薬学演習1	●症候学 ●チーム医療学 ●腫瘍治療学 ●治療薬学演習2・3		●疾患の分子生物学 ●医療科学 ●薬理遺伝学
	薬の情報を収集・吟味する方法を学ぶ	●薬学情報学	●薬学情報学	●生物統計学	●医薬品評価学		●分子薬理学
薬学	体内での薬の運命を学ぶ	●薬物動態学	●薬物動態学	●薬剤学1・2	●薬物動態学		●薬物相互作用
	化合物を薬にする方法を学ぶ	●製剤学1・2	●製剤学1・2	●製剤学1・2	●製剤学3		●総合薬学演習
演習・実習	講義で学んだことの理解を深める	●基礎薬学演習1	●基礎薬学演習2・3	●基礎薬学演習4	●応用薬学演習		●総合薬学演習
	講義で学んだことを実際におこない、身につける	●エクスペリメントスキル	●物理化学実習 ●生薬学実習	●分析化学実習 ●生化学・微生物学実習	●衛生薬学・免疫学実習 ●病態生理学実習 ●薬理学実習 ●薬物動態学・製剤学実習		●総合薬学演習
臨床薬学	研究の意欲と問題発見・解決能力を身につける	●特別実習1	●特別実習2・3	●特別実習4・5	●特別実習6		●卒業実習2
	医療の現場を学ぶ	●早期体験学習	●救急医療学	●調剤学 ●医薬品安全性学	●臨床薬剤学 ●実務実習事前学習	●実務実習(病院・薬局) ●実践治療薬学1	●実践治療薬学2

薬学共用試験(CBT・OSCE)

チーム医療学
さまざまな職種の医療従事者と連携し、より良い医療を提供するため、香川キャンパスにある保健福祉学部臨床工学科、診療放射線学科および、香川大学医学部の学生などと一緒にそれぞれの専門性と果たす役割について学びます。

医療社会薬学コミュニケーション学
患者さんへ正しく情報を伝えるためには、患者さんが抱える問題を理解することが重要。例えば、視覚や聴覚の衰えを体験し、どのように伝えるべきか学びます。

実務実習(病院・薬局)
病院と薬局で5ヵ月間、医師や看護師、患者さんと実際に接しながら、薬剤師業務を体験します。
実務実習費 病院・薬局などでの実務実習に必要な費用(臨床実習費)は、大学が全額負担します。(※)

共用試験(CBT/OSCE)5年次の実務実習をおこなうために、薬剤師の仮免許を取得します。
知識: CBT(Computer Based Testing)
実務実習に必要な専門知識が身につくかを評価する試験です。
技能: OSCE(Objective Structured Clinical Examination)
基本的な調剤技術、処方せん監査や服薬指導などの技能や態度を評価します。

薬剤師国家試験 受験・合格

就職・進学

※香川薬学部では、5年次の病院および薬局における5ヵ月の実習費(およそ70~80万円)を免除します。


科目PICK UP

PICK UP 01 治療薬学3



循環器疾患(不整脈、心不全、高血圧症、虚血性心疾患)や中枢神経疾患、感覚器に関する疾患の病態生理および治療薬を学びます。

PICK UP 02 薬理学実習



薬理学実習では、「生き物と薬がお互いに影響しあう生命現象」に触れることで、薬の専門家としての考え方を育みます。

PICK UP 03 卒業実習1(卒研発表会)




卒業実習では、研究課題を通じて問題発見や解決能力を養います。また、研究成果は論文の形にまとめ、学生自ら発表します。

PICK UP 04 実務実習(白衣授与式)



約半年間、病院・薬局での臨床研修を行い、薬剤師の社会的役割と責任および技能について学びます。実習開始前には、白衣が授与されます。

OB・OGの声
「薬剤師にしかできないこと」を。



薬剤師は薬のプロフェッショナル。学ぶことは多かったです。先生方の心強いサポートのおかげで今の自分があります。なかでも大切な気持ちのありようを学べたことで「患者さんの気持ちに寄り添える薬剤師」をめざしたいと強く思うようになりました。充実した設備で納得がいくまで練習できたのもこの大学だからこそ。貴重な体験を糧に、薬剤師にしかできないことに尽力します。

高松赤十字病院
内藤 利奈さん
香川薬学部 薬学科 2016年卒業